

→source→0→OK をクリックし、グラウンド・パーツを配置する。マウス右ボタンで終了する。GND は不可欠で、通常電源の下のマイナス側に配置し、電源と結線で接続する。



## II. PSpice によるシミュレーションについて

Capture CIS Lite Edition で入力した回路図について、Pspice を用いてシミュレーションを実行する手順を説明する。

### (1) シミュレーションの前処理 (過渡解析の場合について説明)

Capture CIS Lite Edition 画面のメニュー PSpice から New Simulation Profile をクリックする。New Simulation ダイアログボックスが表示されるので、シミュレーション名を各自設定する。次に simulation Settings ダイアログボックスが表示されるので、analysis type に TimeDomain を Option に GeneralSetting を入力する。Run To Time に 1.04 を、Start Saving... に 1.0 (解析 1 秒後から 40ms の区間を表示) を入れる。OK クリックで終了する。(最初は過渡状態なので、定常状態になった波形を表示する)

### (2) シミュレーション結果の確認

調べたいノードに電圧又は電流探索 Probe (  又は  ) を立てる。これにより、該当するノードのシミュレーションの結果を波形で Probe ウィンドウに表示させ検証することができる。またこの波形を印刷可能である(図 6 参照)。

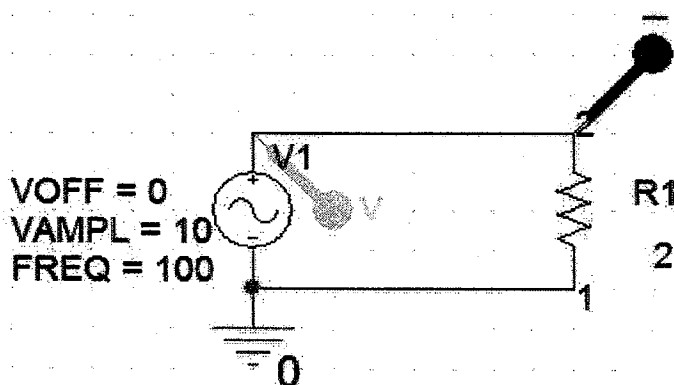


図 6 作成される回路の例

### (3) シミュレーションの実行

PSpice メニューから run をクリックする。OrCAD PSpice が自動的に立ち上がり、シミュレーションが開始する。Probe ウィンドウが表示されシミュレーションの Run 状況を確認できる。

## [演習問題]

R,L,C の素子で構成される回路に交流電圧を印加したとき、電圧と電流の位相関係をシミュレーションにより解析する。